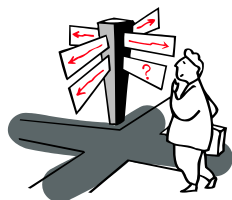




# 乳がんの治療について

京都大学医学部附属病院乳腺外科  
戸井 雅和先生



# 集学的治療

手術

化学療法

放射線治療

ホルモン療法

抗HER2療法

# 集学的治療

手術

化学療法

放射線治療

ホルモン療法

抗HER2療法

病期

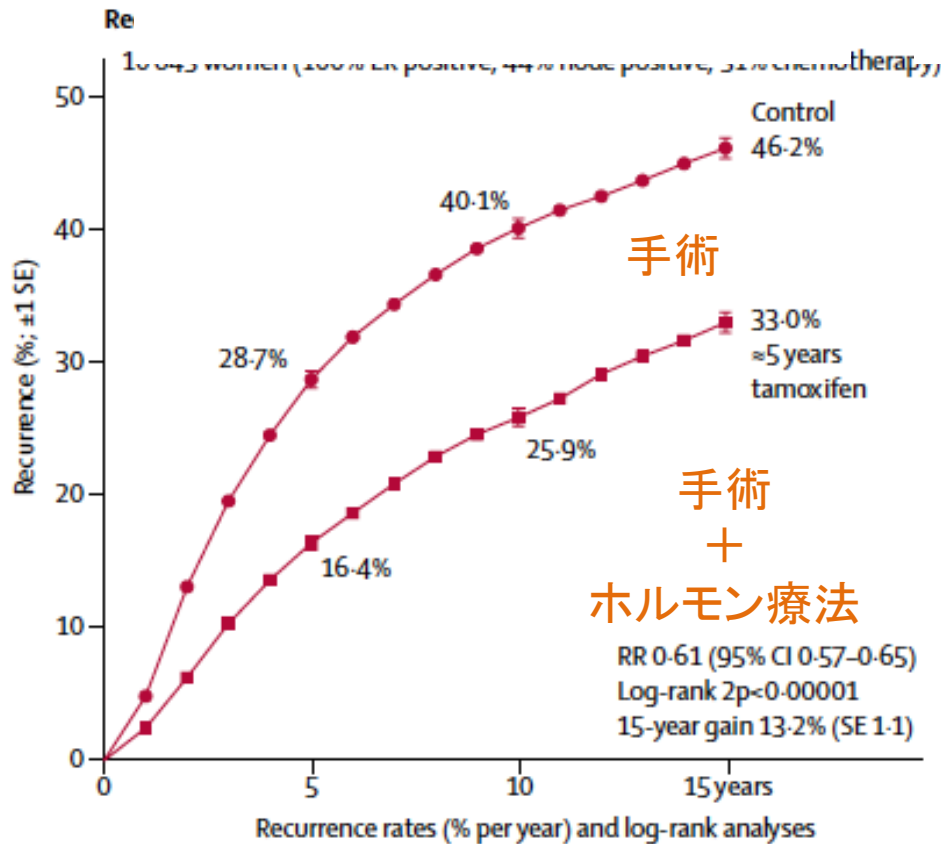
特性

# Q1

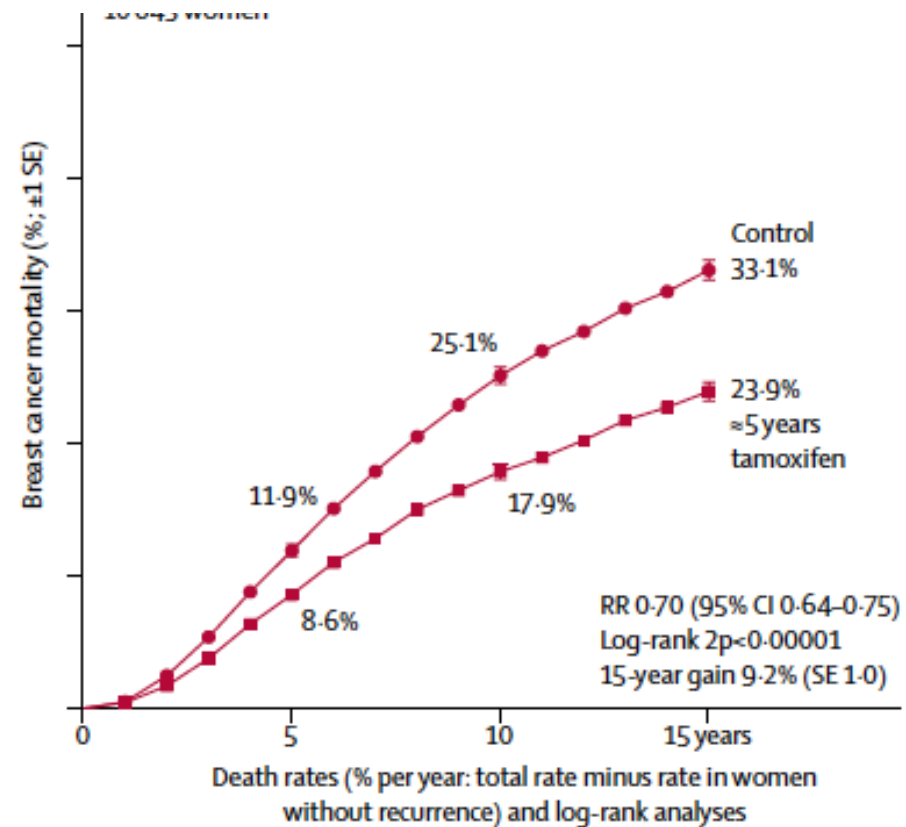
- 手術療法の成績はどれくらい？

# ホルモン受容体陽性乳がん

## 再発率



## 死亡率



# Q1

- 手術療法の成績はどれくらい？

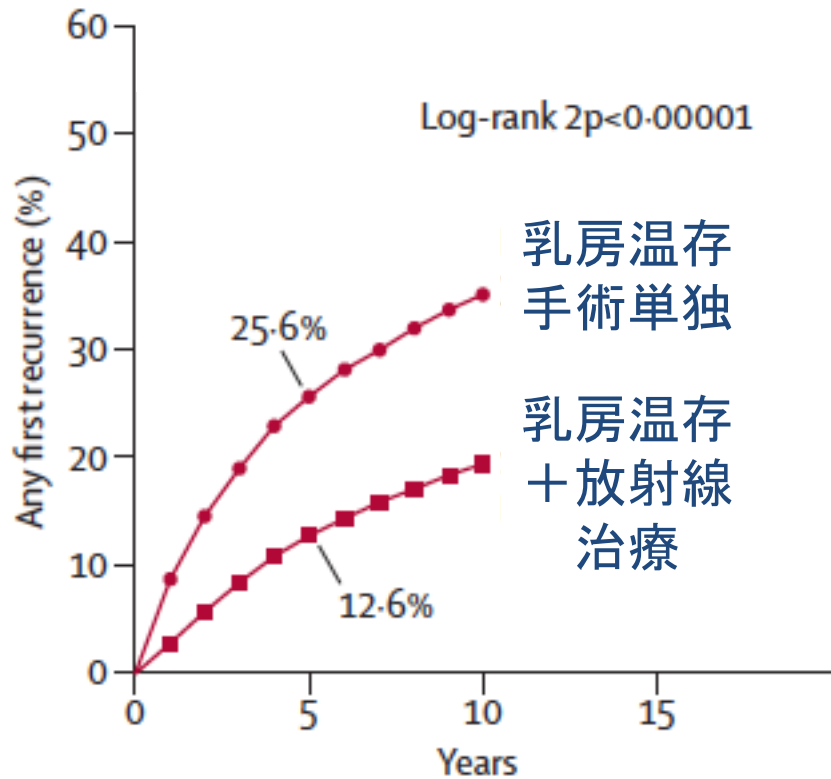
手術局所療法単独（全身療法はなし）でも治癒が期待できる浸潤性乳がんは少なくない。

# Q2

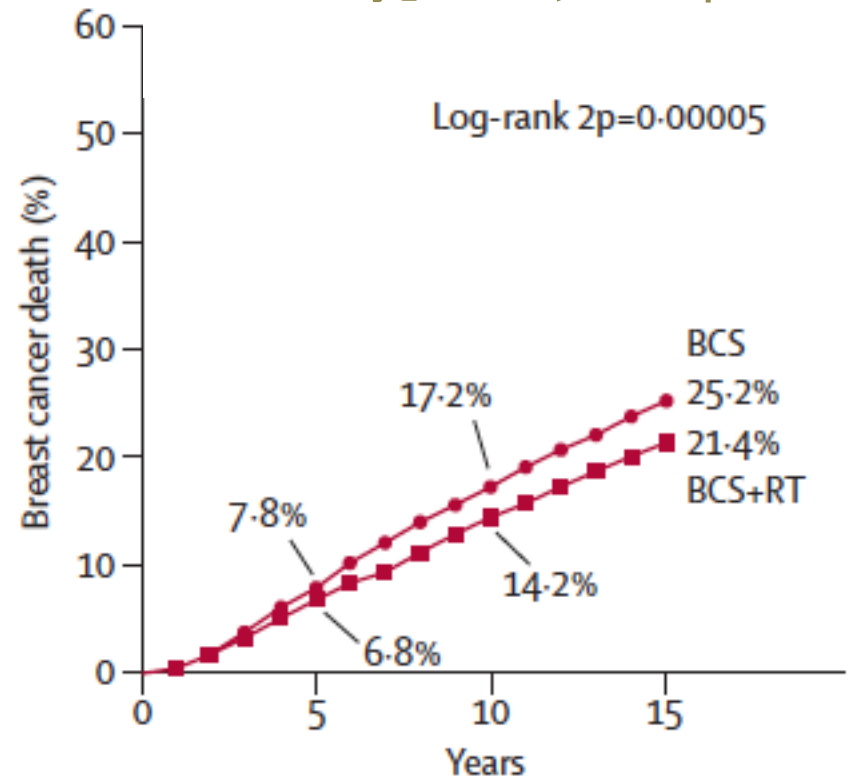
- 放射線治療の役割は？

# 乳房温存手術後の放射線治療の効果

## 再発率



## 乳がん死亡率



10 801症例 女性乳がん(67%リンパ節転移陰性)  
17 無作為化比較臨床試験



# 乳房切除術後の放射線治療について

## NCCN ガイドライン2013

(全)乳房切除  
腋窩診断  
+/-乳房再建術

リンパ節転移なし  
5cm以下の腫瘍  
切除断端 1mm以上

放射線治療なし

リンパ節転移なし  
5cm以下の腫瘍  
切除断端 1mm以下

胸壁への照射を検討

# 乳房切除術後の放射線治療について

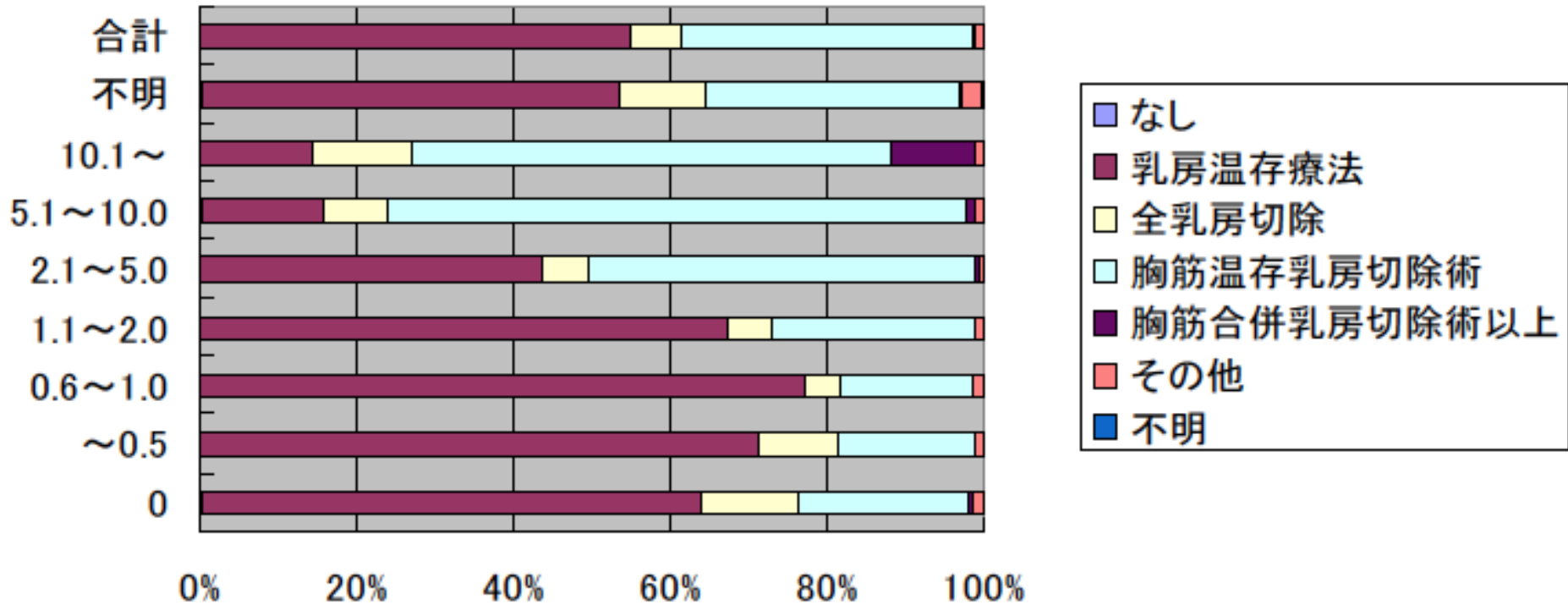
## NCCN ガイドライン2013

(全)乳房切除  
腋窩診断  
+/-乳房再建術

リンパ節転移なし <u>5cm以上の腫瘍</u> or <u>切除断端 陽性</u>	胸壁+/- 鎖骨上リンパ節 内胸リンパ節への照射
1-3個のリンパ節転移	胸壁、鎖骨上リンパ節 内胸リンパ節への照射 の考慮を強く推奨
4個以上のリンパ節転移	胸壁、鎖骨上リンパ節 内胸リンパ節への照射

# 日本における乳がん手術2011

## 腫瘍の大きさと術式



# 原発乳がんの手術

St Gallen コンセンサス会議 2013

乳房温存手術を考慮する場合、以下の因子を有する患者は禁忌とする

When considering breast conserving surgery the following factors are contraindications

若年(35歳未満)

Young age (<35 yr)

絶対的

Absolute



相対的

Relative



若年(40歳未満)

Young age (<40 yr)

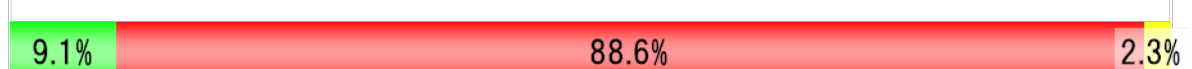
絶対的

Absolute



相対的

Relative



はい YES

いいえ NO

無回答 Abstention or I don't know

# 原発乳がんの手術

Surgery of the Primary

乳房温存手術を考慮する場合、以下の因子を有する患者は相対的禁忌とする

When considering breast conserving surgery the following factors are relative contraindications:

家族歴

Family history



BRCA1陽性

BRCA1 positivity



BRCA2陽性

BRCA2 positivity



St Gallen コンセンサス会議2013

# 腋窩手術

Surgery of the Axilla

1～2個のセンチネルリンパ節にマクロ転移を認める患者では、  
以下を実施した後は腋窩郭清を行わなくても問題ないか？

In patients with macrometastases in 1-2 sentinel nodes, completion axillary dissection can safely be omitted following:

乳房切除術  
(放射線療法を予定)  
Mastectomy (radiotherapy planned)



温存切除および  
放射線療法  
Conservative resection and radiotherapy



■ はい YES   ■ いいえ NO   ■ 無回答 Abstention or I don't know

腫瘍進展  
の程度

患者希望

生物学的特性  
がんの性格  
(予後)

治療効果  
(術前治療)